

VMware のクラウド運用支援サービス

クラウドの価値を最大化するためのプロセスと組織に関する情報およびアドバイス

サービスの概要

VMware のクラウド運用のアドバイザリ サービスと移行サービスは、プロセス、スタッフ、およびサポート用の管理ツールを統合するクラウド運用の機能分野に特化した分析、設計、および実装を支援します。

概要

コンピューティングにおける大きな世代交代と同様に、クラウド コンピューティングがもたらすビジネス チャンスをうまく利用するためには、IT 部門が技術アーキテクチャ以外の部分も変える必要があります。中核となる運用モデル（組織構造、運用プロセス、および IT 財務管理手法）を進化させたお客様は、より効果的な技術アーキテクチャへの移行を実現しながら、将来にわたって最大のメリットを得ることが可能になります。

IT 部門は、俊敏性を向上するだけでなく、組織内のビジネス要件を満たし、組織が競合他社の脅威に対処できるようにするための技術革新をより迅速に行わなければならないというプレッシャーに直面しています。今日の CIO が期待するのは、IT の効率性と即応性を向上し、外部のサプライヤによるサービスよりも安価で、優れた IT サービスを提供することです。また、このようなサービスは、適切に管理されている IT サービスの提供戦略の一環として、安全かつ信頼性の高い方法で提供する必要があります。

IT 部門はこれらの課題にどのように対処し、乗り越えればよいでしょうか。クラウド コンピューティングを、その解決策として採用するケースが増えています。クラウドは、従来とは根本的に異なる IT モデルです。クラウドを導入することにより、CIO は IT サービスの提供方法と、ビジネスが IT を利用する方法を再定義することが可能になります。ビジネスバリューを提供し、組織の戦略的目標の実現を支援する革新的な IT サービスは、多くの場合、ビジネス部門と IT 部門の連携を促進するための基盤となります。

VMware のクラウド ソリューションは、IT の効率性、俊敏性、および信頼性を向上し、革新を促進します。また、クラウドの構築、運用、管理、およびスタッフの配置に必要なテクノロジー、サービス、支援を合わせて提供することによって、組織がクラウド コンピューティングのメリットを最大限に活用できるようにします。

VMware のクラウド運用支援サービス

VMware のクラウド運用支援サービスは、プロセス、スタッフ、およびサポート用の管理ツールを統合するクラウド運用の機能分野に特化した分析、設計、および実装を支援します。柔軟性を考慮して設計された VMware のアドバイザリ サービスと移行サービスは、運用プロセスと組織構造を変革するための情報、重要な推奨事項、およびエキスパートによる支援を提供し、クラウドの価値を最大化することができます。

VMware のクラウド運用アドバイザリ サービス

クラウドへの移行についての評価を実施している組織からは、「クラウドへの移行をいつ始めればよいのか」という質問がよく寄せられます。成長を実現し、競合他社との差別化を図るためにクラウド運用を最適化することが重要であると考えるのであれば、答えは常に「今すぐ」となるでしょう。クラウドの導入が遅れた企業は大きなビジネス バリューを逃す危険性があり、場合によっては同業者に数年の遅れをとってしまう可能性もあります。

同様に、「クラウドへの移行は何から始めればよいのか」という質問も寄せられます。つまり、クラウド運用の現状を考慮したうえで、移行を進めるために最適な方法は何か、成功させるためにどのような計画があるか、クラウド コンピューティングが将来的にスタッフ、プロセス、およびテクノロジーにどのような影響を及ぼすか、ということです。VMware のクラウド運用アドバイザリ サービスでは、お客様がクラウド コンピューティングに期待するメリットをすべて実感できるようにするために、移行を進める手順をアドバイスします。また、ビジネス目標に合わせて効果的かつ効率的にクラウドを計画、運用、管理し、スタッフを配置できるよう支援します。

「クラウド活用能力」とは

クラウド活用能力とは、組織内の IT 部門の役割に関して、IT 部門がクラウド コンピューティングを活用して目標を達成する能力を示す基準です。次の観点から、クラウド運用の 5 つの主な分野に関して調査を実施します。

能力	IT 部門の役割
事後対応型	標準化
プロアクティブ型	サービスブローカー
革新型	戦略的パートナー

「財務上の効果」とは

組織では、クラウド活用能力を最適化した結果、IT 効率性の向上という財務上のプラスの効果を期待できます。お客様担当の財務アナリストが、クラウド運用の価値の提供に貢献する 5 つの主な分野における財務上の効果を数値化します。

- プロビジョニングと展開の自動化
- ポリシー ベースのセキュリティ、コンプライアンス、およびリスク管理
- インシデントと問題のプロアクティブな管理
- クラウド向けの IT 財務管理
- オンデマンド サービス

クラウド活用能力モデル

VMware は、数多くのグローバル企業やサービス プロバイダと協力して、クラウド コンピューティングの導入を検討する IT 部門およびその能力のさまざまなパターンを特定してきました。このデータを基に確立されたのがクラウド活用能力モデルです。このモデルを利用すれば、IT 部門は成長および進化の機会を見出し、業務部門にサービスを提供するためのより効果的なモデルを構築することができます。VMware のクラウド活用能力モデルは、IT 部門が既存のシステム、チーム、リソースをより効果的に活用し、同時に外部のクラウド資産やプロバイダを利用してセキュリティ、ガバナンス、およびパフォーマンスに関する IT 基準を満たすための方法を提供します (図 1)。



図 1: クラウド活用能力モデル

VMware のクラウド運用アドバイザリ サービスをクラウド活用能力モデルとともに利用すると、クラウド運用に関連する価値の提供を促す 5 つの主な分野のそれぞれに対して、実行可能な情報、推奨事項、および財務に関する支援を得ることができます。5 つの主な分野は次のとおりです。

- **プロビジョニングと展開の自動化:** 新しいインフラストラクチャを自動的にプロビジョニングする機能は、オンデマンドの IT モデルを確立し、ビジネス ニーズを満たすために不可欠です。クラウドでは、インフラストラクチャのプロビジョニング時間を数週間から数時間に短縮することができます。
- **ポリシー ベースのセキュリティ、コンプライアンス、およびリスク管理:** クラウドのセキュリティ テクノロジーは成熟を続けていますが、組織は、セキュリティおよび管理の確立されたプロセスにクラウドがもたらす影響を理解しておく必要があります。
- **インシデントと問題のプロアクティブな管理:** クラウド コンピューティングを活用する組織は、従来の管理手法を進化させ、サービスに関する問題が拡大して可用性に悪影響を与える前に、その問題をプロアクティブに診断し対処することができます。
- **クラウド向けの IT 財務管理:** テクノロジー プラットフォームは成熟を続けており、IT 環境に関するより詳細な財務情報を得ることができます。組織はそのデータを利用して、IT 部門が業務部門に提供する価値を高め、両者の関係を強化することができます。
- **オンデマンド サービス:** IT 部門がセルフサービス モデルに移行する要因はテクノロジーだけではなく、オンデマンド サービスを提供する際に、組織および組織をサポートする管理プロセスに投資しないと、クラウドの価値を十分に活用できません。

VMware のアクセラレート アドバイザリ サービスのコンサルタントは、お客様と協力し、5 つの分野のそれぞれに関する、実行可能な情報、変革をもたらす推奨事項、および財務についての支援を提供します。これらはすべて、効率性、俊敏性、信頼性の各分野においてクラウド運用に関連する価値の創造に貢献します。これらの各分野における組織の能力は、IT 部門がクラウドの使用事例をサポートする際の成功レベル、および企業内で IT 部門が担う役割を変化させる能力を判断するために重要な役割を果たします。

クラウド運用アドバイザリ サービスの手法

クラウド運用アドバイザリ サービスは、調査、評価、提供という 3 つの段階で構成されます。アクセラレート アドバイザリ サービスの担当者は、この 3 つのすべての段階でお客様の主要な関係者と協力して情報やデータを収集し、クラウド運用の 5 つの主な分野における実行可能な推奨事項および財務に関する支援をお客様に提供します。アクセラレート アドバイザリ サービスのコンサルタントは、構造化されたアプローチ、適切に定義された手法、情報収集用テンプレート、および価値モデルを使用して、効率および効果を最大にします。

アクション	役割
調査 現状の能力評価、重要な発見、および価値のモデリングのために情報やデータを取得	ワークショップや聞き取り調査を実施して、お客様のクラウドのビジョンを把握するために必要な情報を収集し、主要分野における現状のクラウド活用能力を評価し、価値のモデリング用のデータを収集する
評価 VMware のクラウド活用能力モデルを利用して、クラウド運用の 5 つの主な分野における能力を評価	調査の段階で取得した情報と結果を分析してまとめ、主要分野における現在のクラウド活用能力を評価し、必要な要素に関する合意を確立する
推奨事項 クラウド運用の主な分野における能力を改善し、IT の変革を促進するための主要な推奨事項と計画の概要を提供	クラウドの活用能力と運用を強化し、IT の変革を促進するために、調査結果、実行可能な推奨事項、および計画の概要を提供する
期待されるビジネス上のメリット 戦略的なメリットを特定	クラウド運用の 5 つの主な分野における能力の最適化により期待される戦略的なメリットを特定および提供する
予想されるコスト削減額の数値化 作成された価値モデルおよび契約の一環として提供される現状の能力評価の結果を基に、予想される IT 効率性の向上を数値化	クラウド運用の 5 つの主な分野において、IT 効率性が向上した場合に予想される財務上の効果を特定するための分析を実施する

クラウド運用移行サービス

クラウド運用アドバイザリ サービスで提供される戦略的な支援および推奨事項を基に、経験豊富な VMware のコンサルタントがお客様と協力して、現在のクラウド運用環境（スタッフ、プロセス、およびサポート用の管理ツール）を詳細に評価することも可能です。この評価を使用して、クラウド運用の設計、変更、および検証を行い、ベスト プラクティスに基づくクラウド環境を実現することができます。

クラウド運用移行サービスをクラウド運用の主な概念やクラウド活用能力モデルとともに利用することで、次のサービス分野における機能の実装に重点を置くことができます。

- 監視、インシデント、および問題のプロアクティブな管理の確立
- 構成およびコンプライアンスのプロアクティブな管理の確立（ポリシー ベースの規制、セキュリティ、アクセス、パッチ適用）
- プロアクティブなキャパシティ管理の確立

利用を開始するには

クラウド運用機能の向上、IT とビジネスの変革の促進、およびビジネス バリューの向上のためには、クラウドの運用に関連する主なプロセスを変革し、最適化しなければなりません。今日、その理由と方法を、組織が明確かつ確実に理解しておくことがますます重要になっています。

VMware が提供するテクノロジーのメリットをすぐ実感していただけます。詳細については、次の Web サイトにアクセスしてください。

www.vmware.com/jp

VMware のソリューションがクラウドへの移行に最適な理由

今日の多くの組織にとってクラウドへの移行は必要であると言えますが、多くの場合、そのプロセスは明確ではありません。組織内のインフラストラクチャの現状はどうなっているか、移行に着手するにはどうすればよいか、クラウドの実装にはどのようなテクノロジーが適しているか、そして最も重要な、目標の達成を支援してくれるのは誰か、といったお客様のさまざまな疑問に VMware がお答えします。

VMware には、世界でも最大規模の優れたパブリック クラウドやプライベート クラウドを構築してきた実績があります。現在、VMware はこれまでの経験を活かして、クラウドコンピューティングのメリットを最大限に活用するために必要なすべてのソフトウェア製品およびサービスを備えた包括的なソリューションを市場に送り出しています。このソフトウェアと専門知識の組み合わせは、さまざまなサービスやトレーニングを通じてあらゆる業種のさまざまな規模のお客様に提供されており、VMware およびグローバル パートナー体系独自のものです。

VMware のクラウド ソリューションの詳細については、
www.vmware.com/jp/cloud-computing をご覧ください。

